

# 内部取引消去について(社会福祉及び公益法人会計)

シンシステムデザイン <http://www.ssdesign.co.jp>

改訂した機能は、バージョンアップして **2016年5月11日以降**のソフトで有効になります。

## 1. 内部取引を行うための準備

初期設定メニュー ⇒ 会計期首 の画面を開きます。

内部取引の方法は、次の3つの方法を用意しています。

内部取引消去

- ① 仕訳時にチェックのみで相手部門を特定しない
- ② 仕訳時に相手部門を特定(画面の解像度1280以上)
- ③ ○○区分間のみを自動で内部取引消去する【推奨】

内部取引消去  
の説明はここを  
ダブルクリック

方法①	仕訳時にチェックのみで相手部門を特定しない。 階層別の内部取引消去が必要ない場合は、この方法が便利です。
方法②	仕訳時に相手部門を特定する。(画面の横解像度は 1280 以上) 階層ごとに内部取引消去が必要な社会福祉法人用です。
方法③	今回新しく追加した機能で、おもに社会福祉法人用です。 <b>事業区分間、拠点区分間、サービス区分間</b> と云う言葉を含む科目で仕訳すると、自動的に内部取引消去が出来ます。 ただし、 <b>○○区分間</b> と云う文字で内部取引を判断していますので、これらの文字を含まない次のような内部取引は出来ません。 例) A 部門で生産したものを B 部門で消費するような場合、内部取引として消去するかどうかは賛否がありますが、これを内部取引消去する場合は、この方法では対応できません。 A 部門      現金      /      ○○事業収益 B 部門      ○○費      /      現金

### 【公益法人会計での内部取引消去】

- ③において公益法人会計の場合は、“○○区分間”の文字は“**他会計**”に置き換えます。  
内部取引の対象科目は、“**他会計への繰入**”と“**他会計振替**”です。

## 2. 仕訳の方法

### 方法①

相手部門を特定しないで内部取引消去を行う方法です。

左端にあるチェックボタンにチェックをつけると内部取引消去対象の伝票となります。

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分
<input checked="" type="checkbox"/> 155100 職員給料	1,000,000	21780 サービス区分間借入金	1,000,000
<input checked="" type="checkbox"/> 211760 サービス区分間貸付金	1,000,000	11080 預金3	1,000,000

階層別の内部取引消去が不要な場合はどのような仕訳でも簡単に内部取引消去が出来ます。

### 方法②

入力画面の右に内部取引をする相手部門を特定して入れます。

摘要名1 摘要名2	部門 内部取引の相手部門
製造したパンをひまわり保育所に販売する	14パン製造 4ひまわり保育所
給食用にパンをパン製造から購入する	4ひまわり保育所 14パン製造

上記の仕訳は、「全体の連番」での画面例です。

「全体の連番」にすると、一枚の仕訳伝票に複数の部門の仕訳が入力できますので、相手部門の確認がやりやすくなります。

### 方法③

下記の例のように“〇〇区分間”の文字を含む仕訳を行うと、内部取引の仕訳になります。

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2	部門
155100 職員給料	1,000,000	21780 サービス区分間借入金	1,000,000		3パン製造
211760 サービス区分間貸付金	1,000,000	11080 預金3	1,000,000		4花生産

✚ “〇〇区分間”の文字を使う会計は社会福祉法人会計のみですので、他の会計には現時点では対応していません。

✚ 〇〇区分間の文字を含まない仕訳は内部取引は出来ません。

### 3. 内部取引の仕訳例

下記の仕訳は何れも内部取引の仕訳を行ったものです。

赤色の科目が内部取引消去されます。

下記仕訳例はすべてA部門とB部門間の内部取引とします。

#### 資金移動に伴う内部取引消去

例1) 部門間で貸し借りをする場合

部門	借方科目名		貸方科目名	
A 部門	預金 1	1000	〇〇区分間借入金	1000
B 部門	〇〇区分間貸付金	1000	預金 2	1000

例2) 部門間で資金を移動する場合

部門	借方科目名		貸方科目名	
A 部門	預金 1	1000	〇〇区分間繰入金収益	1000
B 部門	〇〇区分間繰入金費用	1000	預金 2	1000

#### 他部門で支払いを行う場合の例

例1) A部門の人件費をB部門で支払う場合

部門	借方科目名		貸方科目名	
A 部門	人件費	1000	〇〇区分間繰入金収益	1000
B 部門	〇〇区分間繰入金費用	1000	預金 1	1000

例2) A部門の人件費をB部門で支払いますが、部門間の貸し借りでの処理になります。

部門	借方科目名		貸方科目名	
A 部門	人件費	1000	〇〇区分間借入金	1000
B 部門	〇〇区分間貸付金	1000	預金 1	1000

## A部門で生産したものをB部門で消費する場合

例1) 売上や経費を消去しないで行う方法

部門	借方科目名		貸方科目名	
A部門	〇〇区分間繰入金費用	1000	〇〇収益	1000
B部門	〇〇費用	1000	〇〇区分間繰入金収益	1000

例2) 売上や経費を内部取引消去したい場合

部門	借方科目名		貸方科目名	
A部門	現金	1000	〇〇収益	1000
B部門	〇〇費用	1000	現金	1000

A部門の”〇〇収益”やB部門の”〇〇費用”は内部取引消去消去されます。

### 【注意】

方法③では、収益や費用は内部取引消去できません。